

モタ O 2 船団

六連1230出港

りま丸：部隊3,241名乗船 目的地：香港 将兵2,696名、警戒隊9名、便乗者4名、船員56名 合計2,765名戦死

楽洋丸：部隊輸送 目的地：昭南

白根山丸：8日1600 31-06N, 128-36Eで被雷大破乗船部隊3,000名のうち43名戦死。佐世保に帰投

独立歩兵第66大隊、第108教育飛行隊、松江、千葉、宮崎、仙台よりの航空部隊、船舶工兵乗船

独立第107教育飛行団司令部 目的地：香港

第五共栄丸：遭難者救助 佐世保帰投 空船

南嶺丸：部隊輸送 目的地：パラオ

打出丸：第四野戦特科部隊補充員 目的地：パラオ

大敬丸：24MA中60AA大隊、28飛行戦隊、4航軍初年兵、6FD初年兵、部隊2,421名乗船 目的地：パラオ

[第24機関砲第60高射砲大隊、第6飛行師団]

東神丸：詳細不明 目的地：パラオ

扶餘丸：軍需品輸送 目的地：ハルマヘラ

藤川丸：軍需品輸送 目的地：ハルマヘラ

第三東洋丸：空船 目的地：昭南

てしお丸：便乗者474名、軍需品 目的地：パラオ

鷺：遭難者救助 佐世保帰投

第38号哨戒艇：詳細不明

昭和19年2月 9日鹿児島に避退

昭和19年2月12日鹿児島出港

昭和19年2月16日1300基隆入港 モタ O 2 船団解団

タパ O 2 船団

打出丸：タパ O 2 船団 2月18日基隆出港 19日2140 21-54N, 119-55E

大敬丸：タパ O 2 船団 2月18日基隆出港 19日1558 21-40N, 119-50E

東神丸：タパ O 2 船団 2月18日基隆出港 19日2345 08-58N, 132-45E

てしお丸：タパ O 2 船団 3月1日 パラオ入港

南嶺丸：タパ O 2 船団 3月1日 パラオ入港

楽洋丸：昭和19年2月19日高雄入港 22日出港 3月15日昭南入港

扶餘丸：昭和19年2月19日高雄入港 22日出港 26日マニラ入港 3月3日マニラ出港 10日ハルマヘラ入港

藤川丸：昭和19年2月19日高雄入港 22日出港 26日マニラ入港 3月3日マニラ出港 10日ハルマヘラ入港

第三東洋丸：昭和19年2月19日高雄入港 22日出港 3月15日昭南入港

りま丸 日本郵船 6,989総トン

Snook(SS-279) sinks transport Lima Maru about 30miles southeast of Goto Archipelago, 31-05N, 127-37E.

陸軍輸送船りま丸は五島列島南西約30マイルで米潜水艦スヌークの雷撃により沈没。
北緯31度05分、東経127度37分 米海軍記録より

昭和19年2月7日1230 モタ02船団の基準船として陸軍部隊3,241名を乗せ、香港に向け門司（六連）を出港。

昭和19年2月8日2220 北緯31度05分、東経127度31分において雷撃を受け沈没。

乗船部隊

第23軍、独立混成第19旅団16.10.15福岡で編成 通称：潮

支那派遣軍 汕頭 独立混成第19旅団は昭和20年4月15日第130師団（鍾馗）となる。

独立歩兵第97, 98, 99, 100大隊、歩兵砲隊、第19混成旅団司令部

第168教育飛行戦隊、第四野戦特科部隊

第三船舶工兵連隊（上級部隊：第四船舶輸送司令部－第二船舶団司令部〔ラバル〕）

109教育飛行隊

病院船60班

各部隊毎の乗船者数および戦没者数は不明。

本船が遭難した位置における潮流は図（近年の潮流図）では北東に向かい、その後反転して南東に向かっている。＜63年前でも大きく変化はないと考えられる＞潮流は早くて1ノット程度である。遭難位置から種子島まで約300マイルとして、漂流日数は10日から15日程度。とすると2月18日から23日ぐらいに漂着したと思われる。北西の季節風が強く吹いていたとなればもう少し早い時期も考えられる。

なお、当時この付近を航行していた船団はシ802、モ302があるが、航路は大きく離れているため、救助は無理であったと考えられる。

出典根拠：戦史叢書 昭和20年の支那派遣軍、戦時輸送船団史、戦時船舶史、船舶輸送間における遭難部隊資料、陸軍徴傭船行動調書、日本郵船戦時戦史、同資料編、米海軍ホームページ



モタ02

白根山丸、リマ丸、南嶺丸、打出丸、大敬丸、
てしお丸、東神丸、扶余丸、藤川丸、樂洋丸、
第三東洋丸、第五共栄丸、旺洋丸、鎮海丸

モタ02船団のまとめ

タパ02

南嶺丸、打出丸、大敬丸、てしお丸、東神丸、
鎮海丸

船団名不明

扶余丸、藤川丸

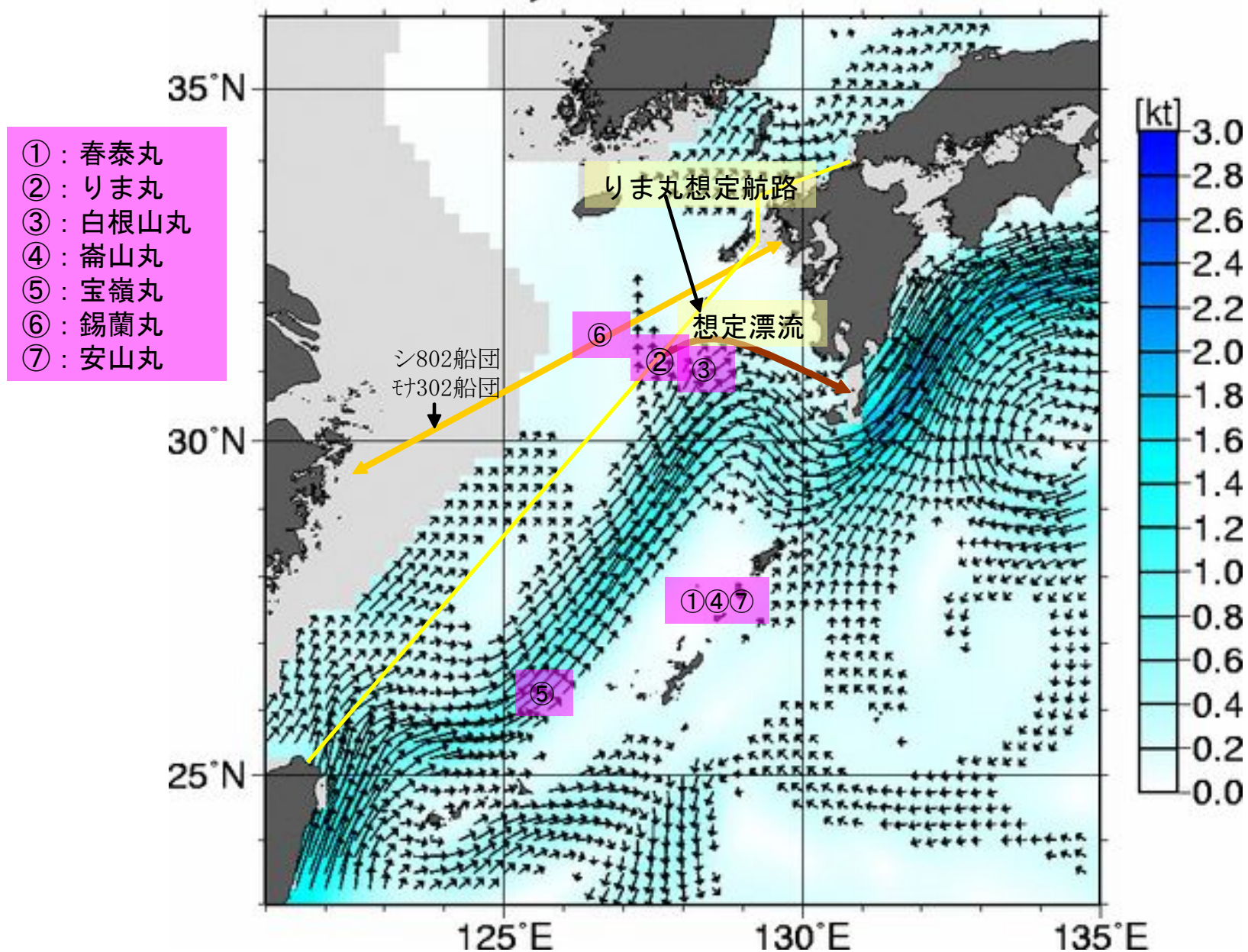
船団名不明

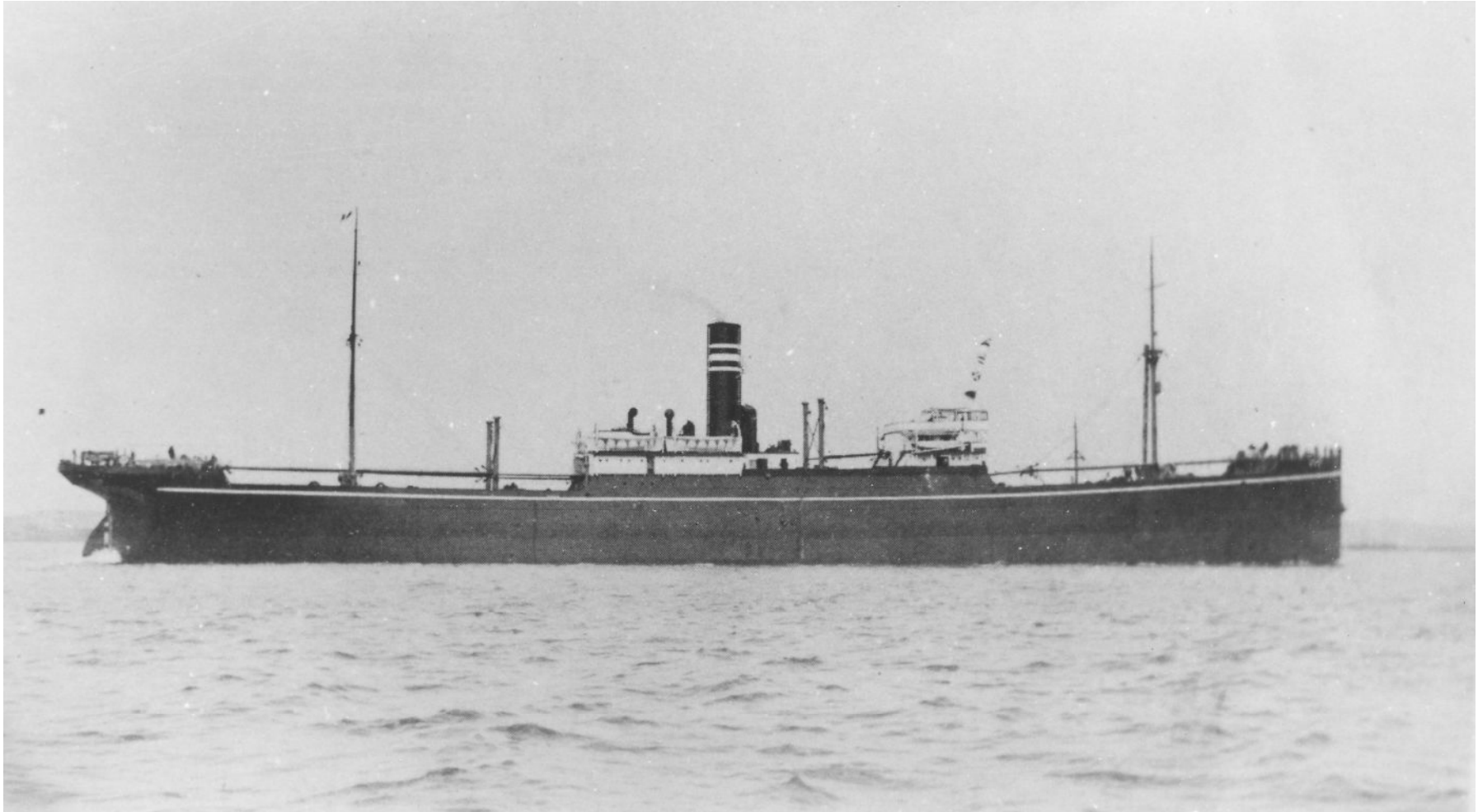
樂洋丸、第三東洋丸、
旺洋丸

昭南

パラオ

Sea Surface Current 2007/02/08





りま丸 日本郵船 6,989総トン 大正9年4月25日竣工

昭和19年2月7日0800 独立混成第19旅団将兵3,241名を乗せ高雄に向け門司港を出港。六連泊地でモタロ2船団を編成、船団の基準船となる。8日2220頃北緯31度05分、東経127度31分（草垣島西方100カイリ付近）において米潜水艦SS-279 Snookから、右舷2番艙、機関室付近、船尾へそれぞれ魚雷をうけ爆発、3分後に沈没。将兵2,696名、警戒隊9名、便乗者4名、船員56名合計2,765名戦死